

【膿胸】

膿胸とは、肺の細菌感染症（肺炎）によって起きる胸のなかに膿がたまる病気です。

発病してからの時間経過により、急性膿胸と慢性膿胸と分けられますが、一番多いのは高齢者の肺炎に伴って生じる急性膿胸です。

治療としては、抗生剤投与と膿を外に出すドレナージ治療があります。

抗生剤の効果があり、ドレーン治療が奏功して膿により虚脱した肺が膨らめば、ドレーンを抜いて退院可能です。ここまでは呼吸器内科で治療を行う場合が多いです。

しかし、膿が十分に抜けず、肺の膨らみが悪い場合は手術が必要になります。

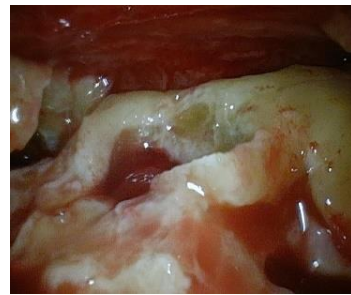
手術は胸腔鏡を用いて膿の溜まったスペースに入り、たまった膿を掻き出し、十分洗浄してドレーンを入れます。これを膿胸腔掻把術といいます。



左膿胸レントゲン



膿胸 掻把術



膿胸